

平成20年11月10日

各位

御 要 望 書

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は弘前国際医学フォーラムに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、弘前国際医学フォーラムは第11回目を迎えます。今回は、「Emerging Frontiers in Brain Research-Crossroads of metabolic regulation, stress response and disease-」と題して、実行委員会を中心に企画を進めて参りました。

21世紀は「脳の世紀」とも言われ、神経科学の分野は大いに期待される分野です。今回のシンポジウムでは、脳の血流動態制御や低酸素応答などの「代謝制御」と、酸化ストレスや異常タンパク質に対する「生体防御応答」という切り口を中心に据えて、アルツハイマー病をはじめとする脳疾患の病態解明に迫ることを目的として企画しました。このようなテーマのもと、この分野の最先端で活躍する研究者を国外から7名、国内から10名ほど招待講演者としてお招きすることを別紙の通り予定しております。更に学内からは実行委員会の講座を中心にいくつかの講演を予定するとともに、一般演題として多数の発表をいただく予定です。

国際医学フォーラムの名前に相応しくこれまでの伝統に則った真に国際的な学術集会にしたいと思いますので、皆様のご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

弘前国際医学フォーラム第11回学術集会実行委員会	
分子生体防御学講座	伊東 健（委員長）
統合機能生理学講座	藏田 潔
統合機能生理学講座	山田 勝也
病理生命科学講座	鬼島 宏
神経精神医学講座	兼子 直
脳神経外科学講座	大熊 洋揮
脳神経病理学講座	若林 孝一
脳血管病態学講座	今泉 忠淳
脳神経生理学講座	上野 伸哉
脳神経内科学講座	東海林 幹夫